

学区の地域基礎調査

野洲学区

1. 学区の特徴

野洲市の中央部で、北は北野地域、東は祇王地域、南は三上地域に接しており、野洲川対岸にある西側は守山市に接しています。人口11,685人、面積498haの区域です。

野洲市役所本庁舎をはじめ、主要な公共公益施設の多くが本地域に立地しており市域全体の中心的な地域です。中央にJR野洲駅が位置しており、交通利便性が高く、商業・業務施設の立地により、買い物等に便利な地域です。

野洲川河川公園等が立地しており、屋外スポーツ・レクリエーション施設が充実した地域です。

JR野洲駅周辺をはじめとして、幹線道路において朝夕に渋滞が発生します。また、高層マンション等の立地により、三上山への眺望が阻害される可能性があります。

◆交通

JR野洲駅を中心として、路線バスや、市の循環バスの拠点となっています。

JR東海道線、JR東海道新幹線、国道8号線が学区の東西を貫いています。

◆農業の形態

兼業の農家が大半で、小規模な自給的農家が殆どを占めます。

◆山

林業としての形態は無く、かつては薪炭林として利用されていましたが、化石燃料化により山の出入りはなくなっています。唯一、マツタケ山として、秋には多くの方が訪れられます。

◆銅鐸

日本史古代の謎とされている銅鐸は、祭器・楽器などに使われたといわれていますが、未だにその謎は解かれていません。野洲市小篠原より出土した銅鐸は、同一箇所出土数では日本で二番目となる24個が出土した他、日本で一番大きな銅鐸(高さ134.7cm、重さ45.47kg)もこの地より出土しています。



この地より出土した 大小様々な銅鐸

◆福林寺跡磨崖仏

福林寺跡の静かな笹原一体には、小磨崖仏が点在しています。中でも2体の如来仏と1体の観音立像を彫刻した磨崖仏は、室町時代初期のもので美しい姿をしています。



2. 地元商品取扱店の調査

地元商品取扱店

店の名前	四ツ家無人市場
代表者氏名	高田利通
住所	野洲市野洲 四ツ家自治会館前
営業時間	早朝から12時まで
定休日	なし
駐車場	①. 有 ②. 無
連絡先（電話番号含む）	077-587-0939 高田利通
取扱品目	農産物
店のコンセプト	昭和25年から当時は出店者も多く大変盛況だったが、農協支店、やすおうみんち、マーケットなど出来て出店者も少なく客も少なくなった。
購買者の傾向	
納入者の傾向	

四ツ家無人市場



地元商品取扱店

店の名前	野洲ふれあい市
代表者氏名	ふれあい市出荷部会 代表 西村 保雄
住所	野洲市小篠原2142-3
営業時間	夏季5月から9月 午前6:30 冬季10月から4月 午前7:00
定休日	日曜日
駐車場	①. 有 2. 無
連絡先（電話番号含む）	077-588-3131
取扱品目	花・野菜
店のコンセプト	新鮮・案心・安全・安い
購買者の傾向	地元の主婦、飲食店の仕入業者
納入者の傾向	地元農家

野洲ふれあい市



地元商品取扱店

店の名前	すまいる市 駅前店
代表者氏名	店長 辻村美喜子
住所	野洲市小篠原2199
営業時間	10:00～17:00
定休日	日曜日
駐車場	①. 有 2. 無
連絡先（電話番号含む）	077-587-5225
取扱品目	農産物、加工品、水産物、花、間伐材製品等
店のコンセプト	市内で採れた旬の野菜や果物、湖魚や加工品など新鮮で美味しい品物がたくさん並んでいる。地域通貨『すまいる』が買物代金の一部に使え、その売上金は太陽光発電の設置に利用される。地球とお客にやさしいお店。
購買者の傾向	駅近辺の高齢者や、駅や近隣施設を利用の客が多いリピーターが多いのも特徴
納入者の傾向	地域の農業者や漁業・林業者、及び加工業者など約100人程度



3. 地元商品を販売するイベント



第5回 コミセンやす 秋まつり

平成22年11月8日(日)

野洲市役所 敷地内で実施

主催：秋まつり実行委員会

参加者：学区在住の農業者

来客数：550名程度

商品：大根・玉葱などの野菜

4. 地元につながる伝統料理やもの、伝統芸能など

行畑地藏まつり

中山道沿いにある「背くらべ地藏」周辺で、農機具などの一式飾りの「造り物」が展示され、夏の風物詩として多くの見学者で賑わいます。



5. 協議会への提案

- 地元農業生産者の情報公開
- 地元農産物の販売店舗の公開